

# 指定管理者総合評価シート

## 1 施設の概要

施設名	豊岡市立道の駅「神鍋高原」	所在地	豊岡市日高町栗栖野59番地の13
設置目的	地域資源を活用し、来訪者と住民との交流により、地域の活性化を図る。		設置年月日
			2003年7月17日
選考方法	非公募	豊岡市公共施設再編計画における施設の方向性 第1期計画期間（2016年度～2025年度）	—

## 2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(株) 日高振興公社	指定期間	2018年4月1日から2022年3月31日
指定管理業務の内容	(1) 休憩施設等の提供、観光及び道路情報等の提供、地域特産品等の展示即売に関するに係る業務 (2) 道の駅の使用及びその制限に関する業務 (3) 道の駅の維持管理に関する業務 (4) 上記に掲げるもののほか、市長が定める業務	指定管理料(千円)	なし

## 3 総合評価

### (1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記の判断理由や具体的内容)

道の駅として観光情報等の提供、公衆トイレの管理、地場産品等の販売等を行っている。今期指定管理期間の終盤は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出の自粛要請により大きな影響を受けた。そのような中で、例年開催しているイベントを縮小しながらもできるだけ開催し、楽しみにしている利用者の期待に応えた。また、これまで売店で取り扱いのなかった種類の商品の販売許可を取得、販売を開始する等、積極的に経営努力を行っている。このような姿勢は評価できる。

### (2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

日常的に施設・設備の維持管理に努めているものの、老朽化による修繕必要箇所の増加が懸念され、優先すべき修繕箇所及び修繕費用の負担について指定管理者と協議しながら計画的に対応する必要がある。また、農産物の端境期には商品が少なくなりがちであるが、地域事業者等との連携を強化し、他のジャンルの商品で補完したり、起業した若手事業者のチャレンジショップとして販売スペースを提供する等、工夫できる余地はあると考える。

### (3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	指定管理者制度による運用の見直しを検討する。若しくは検討中である。

(上記の判断理由や具体的内容)

豊岡市公共施設再編計画において、道の駅「神鍋高原」は第2期計画以降の計画対象施設となっているが、今後も指定管理制度を継続し、民間企業の経営ノウハウやアイデアを活かしながら、より合理的・効率的な運営を確立すること、また、地域事業者等と連携することで、神鍋高原の玄関・ハブとして地域活性化と観光振興に寄与するものと判断する。  
なお、2022年度に神鍋温泉ゆとろぎ及び日高農林漁業体験実習館を道の駅「神鍋高原」施設に統合している。

### (4) 指定管理者制度評価委員会の意見

3施設合わせて、新たに道の駅「神鍋高原」として、指定管理者制度による管理運営をすることとなっている。引き続き地域の活性化や観光振興を図る施設として努力すること。

1～3(3)を所管課が記入する。